

## 記念物 史跡／県指定

くすもとたんざんきゆうたくとくすもとけぼちどふんぐんななき

# 楠本端山旧宅と楠本家墓地土墳群七基 [L-16]



江戸末から明治の大儒学者である楠本端山と弟碩水の旧宅と、その東側にある楠本家の墓地である。端山は文政11年(1828)に生まれ、平戸藩校である維新館に学び、鳳鳴書院で後進の指導にあたった。旧宅は天保3年(1832)に建築されたもので、平戸藩士の格式の中に儒学者としての祠堂を備えるなど、往時の生活を忍ばせる。楠本家墓地のうち端山の墓を含む7基が土墳を持つ儒教様式の墓である。県内唯一の現存例であり、特に端山の墓は土墳の前に儒教式墓碑を置き、周囲には斎垣(いがき)、前面には中国風石門と石灯籠を置く典型的な儒教墓である。



**住** 佐世保市針尾中町1698-2(旧宅)  
1550(墓地)

**租** 管理人室/0956-58-2144

**P** なし

**交** 西肥バス 葉山バス停

**案** なし

**休** 旧宅/土日祝祭日、年末年始 墓地/一

